

期末レポート

桂田 祐史

2023年7月21日

ゼミで発表したこと(発表時に分からなかったが後から分かった、ということも書いて良い—もしあれば)を“原則として全て”レポートにまとめて書く。

- 2回の発表で全然違うことを書いた場合は、どちらか一方だけでもよい。
- 提出とフィードバックは Oh-o! Meiji のレポート・システムを使う。
- 1次提出 \times 切: 7月31日(月曜). この日までに提出されたものは、8/1(火曜)までにコメントをフィードバックします。
- 最終提出 \times 切: 8月4日(金曜)
- 早く終わらせたい場合は、早めに提出して下さい。こちらも早く(原則2日以内に)フィードバックします。(念のため、提出したことをメールやLINEで知らせて下さい。)

注意事項

- 一番大事なことは想定する読者。私のゼミのレポートでは、「“自分達”と同程度の知識・学力のある人」としてしています。少し前の、今回発表したことを知らなかった時の自分を想定して下さい。
- 常識でない言葉や知識は、必ずレポート中で説明する。数学用語ならば定義を書くこと。
- 何か主張する場合は、その根拠を述べる。数学的事実ならば証明を書くか、証明がどこに書かれているか。“事実”については、データとか観察記録とか。
- 実験などは追試が出来るように。数値実験などはプログラムの添付などを検討する。
- レポートは、基本的に文章であって、その点でパワポ資料とは違う。
- 形式について
 - 表紙 「総合数理ゼミナールレポート」以外に内容を表すタイトル
学年・組・番号・氏名, 提出日付(西暦)
 - 目次 各 section の見出しと開始ページ
 - イントロ 何をテーマとするか、なぜそれを選んだかを書く。
何が分かったか、出し惜しみせず、このイントロで書いてしまっても良い。
(論文では、先行研究などもイントロに書いたりする。)
 - 本論 ここが一番長い。複数の section に分けるのが普通。
 - むすび 何が分かったか(できたか)を書く。やり残した課題を書くこともある。
数学の論文の場合は、イントロに結果が書けて、むすびがないこともある。
でも普通は書いた方が良い。
 - 付録 細かいことは、結びの後に、付録として収録する。